

令和 9～11 年度に校舎等の改修工事が予定されています。

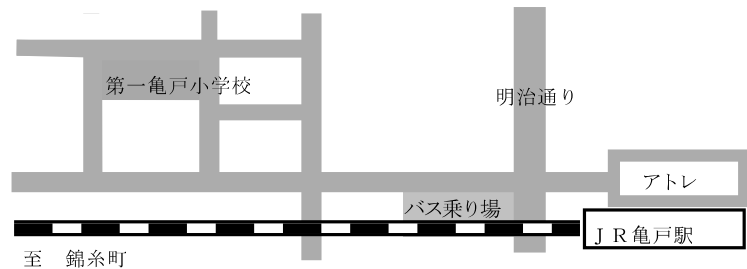
江東区立第一亀戸小学校

住 所 〒136-0071 江東区亀戸 2-5-7
電 話 03-3684-4300
FAX 03-3682-0158
URL <http://1kame-sho.koto.ed.jp/>
校 長 中村 和弘
副 校 長 宇田 幸正
教職員数 31 名



	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
児 童 数	73	101	97	101	113	89	574
学 級 数	3	3	3	3	4	3	19

交通案内図



交通機関

- ◆ JR 総武線
「亀戸駅」北口下車 徒歩 5 分
- ◆ 都営バス
「亀戸駅前」下車 徒歩 5 分（亀 21 系統）
「亀戸駅前通り」下車 徒歩 6 分（錦 14 系統）
- ◆ 東武亀戸線
「亀戸駅」下車 徒歩 6 分

教育目標「よく考えて行動する子」「思いやりのある子」「ねばり強い子」

こどもたちの笑顔があふれる 元気で楽しい学校で「いちかめの子」が育つ

目指す学校の姿

本校のあゆみ

『亀戸ナンバー1 一亀プライド』

目指す児童像

- い 命を大切にする子
- ち 知恵のある子
- か 体をきたえる子
- め めあてをもつ子

目指す学校像

- ◎こどもたちの笑顔があふれる、
元気で楽しい学校
- 組織的な教育（教育 DX の推進）
- 基礎基本の徹底（こうとう学びサポーター）

目標を達成するための経営目標と具体的方策

◎基礎・基本の定着を大切にし、学力の向上を図ります

- ・学習規律の確立「学び方スタンダード」の徹底
- ・楽しく分かりやすい授業
- ・児童用タブレット・デジタル教科書の効果的な活用
- ・図書や読書タイム等の充実
- ・運動が好きな児童の育成
- ・句集の作成

学力・体力の向上

◎人権尊重の意識、思いやりの心を育てます

- ・あいさつや適切な言葉遣いの定着
- ・教育相談、学級支援体制の確立
- ・SNS ルール・情報モラルの指導、徹底
- ・規範意識をもたせ、正しく行動させる
- ・友だちを大切に、いじめは絶対しない心の育成
- ・自己有用感の醸成
- ・生活指導連絡会の活用

生活指導の充実

◎開かれた学校づくりを推進します

- ・コミュニティ・スクールとしての地域の教育力の活用
- ・情報発信の工夫
- ・外部評価の実施
- ・学校運営協議会、地域学校協働本部との連携

学校・家庭・地域の協働

開校 明治30年6月11日

明治30年 亀戸尋常小学校として開校
(児童数275名)

明治44年 亀戸第一尋常小学校になる
昭和 7年 市立第一亀戸小学校になる
昭和16年 第一亀戸国民学校になる
(児童数220名)

昭和19年 山形県上山市に集団疎開
昭和20年 3月9日戦災により消失
浅間小学校に仮校舎 (児童数19名)
昭和22年 江東区立第一亀戸小学校になる
(児童数220名)

昭和31年 開校60周年記念式典挙行
現在の校歌を制定

昭和56年 亀島小学校ができ、学区が変わる
平成 4年 全国保健体育優良校として
文部省より表彰

平成 9年 開校100周年
平成14年 亀島小学校と統合 (児童数498名)
交通安全活動優良団体区長賞受賞
開校105周年

平成18年 開校110周年
平成20年 特色ある教育活動推進校
平成22年 江東きずなクラブ一亀開設
平成22・23年江東区体力向上推進モデル校指定
23年研究発表会

平成24年 開校 115 周年
平成26年 江東区心の教育推進校指定
校舎増築
平成26・27年 東京都リビック・パ・ランビック教育
推進校指定

平成29年 開校120周年
令和 4年 開校125周年

江東区立第二亀戸小学校

住所 〒136-0071 江東区亀戸6-36-1

電話 03-3684-4303

FAX 03-3682-0168

校長 飯川 浩二

副校長 永野 むつみ

教職員数 41名



(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	109	121	141	113	119	131	734
学級数	4	4	4	4	4	4	24



◇交通案内図



◇交通機関

- ◆JR総武線・亀戸駅下車（東口）・・・徒歩7分
- ◆東武亀戸線・亀戸駅下車（北口）・・・徒歩10分
- ◆都営地下鉄新宿線・西大島下車（4番出口）・・・徒歩15分
- ◆都営バス（都07）亀戸駅通り下車・・・徒歩8分
- ◆都営バス（亀26）（亀21）（錦25）錦26）水神森下車・・・徒歩4分

令和8年度 江東区立第二亀戸小学校 学校経営グランドデザイン

「こどもの権利条約」「江東区こどもの権利に関する条例」等
教育推進プラン・江東（第3期）

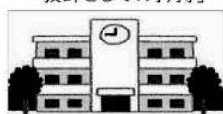
みんな、かがやく！

磨く

伸

ともに

ウェルビーイング向上と
「教師としての矜持」



【教育DXと働き方改革】

- ・新学習者用端末の活用
- ・「週予定表」の配信
- ・「すぐーる」「Classroom」によるペーパーレス化推進
※紙配布の原則廃止
- ・勤務時間の管理
※1月の上限30時間以内
※年次有給休暇取得15日以上
- ・Challenge Wednesday
- ・服務事故防止（私費会計）
- ・「学校と家庭・地域とのより良好な関係づくりに係るガイドライン」（東京都教育委員会）

学校教育目標

心豊かで思いやりのある子ども
自ら学びすすんで実行する子ども
健康でたくましく生きる子ども

Nikamekko Educational Goals
二亀小こども教育目標(NEGs)

こどもに合わせるサイクル

Try my best
やってみる

Respect each other
大切にする

Anticipation
見通す

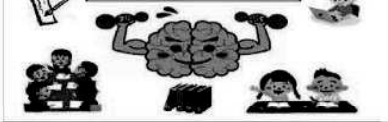
Reflection
振り返る

【コミュニティスクール(CS)】

<学校運営協議会>

- ・地域有識者
- 各町会長
- 青少年委員
- 民生児童委員
- 元PTA会長経験者等
- ・併設幼稚園長
- ・近隣児童館長
- ・子ども家庭支援センター長
- ・PTA会長、父母の会長
- ・地域学校協働本部
- PTA、ニカメファンクラブ
- おやじの会、

あたまっく



個別最適・協働的な学び
新学習指導要領への対応

校内研究（生活・総合）

俳句・読書

デジタル学習基盤

教科担任制の推進

他

にこにこ交流
併設幼稚園交流

キャリアパスポート

特別支援教育
人権教育（多様性の包摂）

他

よつばルーム
相談週間

115周年記念行事

からだっく



わくわくタイム

体育的活動

すくすくタイム

食育

コーディネーショントレーニング

他



江東区立香取小学校

住 所 〒136-0071 江東区亀戸4-26-22

電 話 03-3684-4306

FAX 03-3682-0169

URL <http://katori-sho.koto.ed.jp>

校 長 石 邑 由紀子

副 校 長 河 口 和 彦

教職員数 23 名 (5 月 1 日現在)



新校舎（令和2年4月より）

学年等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	41	39	37	36	42	39	16	250
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14

・香取スタイルに基づく授業の実施

・地域の特色を生かした問題解決学習の実施

・朝チャレ及び放課後学習
教室の実施

・学校行事・特別活動の充実

・学びスタンダード強化講師や
学習支援員等の活用

・体育科授業の充実

・特別非常勤講師の配置

・体力アップに係る取組
の実施

・工夫した献立の提供

・「KOTO☆キッズながなわチャレンジ」
に向けた取組の充実

・学校生活アンケート等の
実施・活用

・【地域学校協働本部】
授業支援の実施

・【地域学校協働本部】
ウィークエンドスクールの
実施

・インクルーシブ教育の推進

・異学年交流の実施
(縦割り班活動・吹奏楽部(部活動))

・読書活動の推進

・【みどりボランティア】
栽培活動の充実

・茶道体験教室の実施

みんな、かがやく！
自分らしく
香取18Initiatives

コミュニティ・
スクール(CS)

・学校運営協議会
・地域学校協働本部

PTA

・ゆいまーる(読み聞かせ)
・行事ボランティア
・香取っこ応援隊



地域や保護者と連携した特色ある教育活動

読み聞かせ 吹奏楽部の活動 みどりボランティア
あじさい読書・どんぐり読書 亀戸大根の栽培
地域のスポーツクラブとの連携 俳句教室
地域講師による書写指導 キャリア教育
ウィークエンドスクール(和室を活用した茶道教室)
特別支援教育の充実 福祉教育の充実
ふれあい給食 ドッジボール大会
ボランティア活動(地域清掃等) 校内ポッチャ大会

江東区立浅間竖川小学校

住所 〒136-0071 江東区亀戸9-22-4

電話 03-3684-4311

FAX 03-3682-0171

URL <https://sengentatekawa-sho.koto.ed.jp/>

校長 葛西 利昭

副校長 佐々木 順子

教職員数 39名

(令和8年5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	99	90	111	123	115	110	648
学級数	3	3	4	4	4	4	22



◇交通案内図



◇交通機関

- ◆都営バス「錦25」 錦糸町駅 ⇄ 葛西駅
- 「錦27」 両国駅 ⇄ 小岩駅
- 「亀26」 亀戸駅 ⇄ 今井
- 「浅間神社前」下車 3分
- ◆J R 平井駅 徒歩15分
- ◆都営新宿線東大島駅 徒歩16分

〈校章の由来〉



区花さざんかの花卉をモチーフに、両校のシンボル樹「けやき」の下で躍動するこどもをデザインしました。



開校20周年記念キャラクター「けやっきー」



開校25周年記念キャラクター「せんかめちゃん」

◇本校の概要

浅間小学校と竖川小学校が 平成12年4月1日に統合し、開校26周年

- 平成13・14年度 江東区教育委員会研究協力校として、研究発表を実施
- 平成16・17年度 江東区教育委員会研究協力校(国語) 研究発表を実施
- 平成20・21年度 江東区教育委員会研究協力校(理科・生活科)
- 平成21年度 全国理科研究大会(東京大会) 研究発表を実施
- 平成22年度 開校10周年記念式典・祝う会
- 平成23年度 江東区教育委員会教育課題研究校
- 平成26年度 校舎改築(体育館・東棟)、校庭芝生完成
- 平成27年度 江東きずなクラブ設置、学校地域支援本部事業開始、開校15周年記念児童集会
- 平成28・29年度 東京都教育委員会伝統・文化教育推進校、江東区教育委員会教育課題研究校
- 平成30年度 江東区教育委員会教育課題研究校(理科・生活科)
- 令和2年度 開校20周年記念式典挙行
- 令和4年度 江東区教育委員会教育課題研究校(健康・体力の増進)
- 令和6・7年度 東京都教育委員会安全教育推進校



令和8年度 江東区立浅間竖川小学校 <開校26周年>

特別支援教室(ひまわり教室)巡回拠点校

Action24
その日のうちに行動!



25周年キャラクター
せんかめちゃん

夢を育てる

こどもにまかせ

教育目標

考える子
思いやりのある子
元気な子

笑顔あふれる学校

こどもとともに!

ともだち大好き浅竖っ子

- 一人一人のかがやきを尊重
(良さを認め、励まし、高める)
- 思いやりの心を醸成
- 自他の生命を尊重する「いのちの授業」
- いじめ・不登校ゼロに
(校内教育支援センターの充実)
- ユニバーサルデザイン授業(4年)
- 道徳授業の充実
- 季節を感じる俳句づくり
- 伝統文化に親しむ(書写)
- 異年齢集団活動
(たてわり班活動)
- 金管バンド(課外活動)の充実
(4, 5, 6年)



学ぶの大好き浅竖っ子

- 主体的、深い学びとなる授業
- 児童自ら考え、解決していく授業
- Chrome Bookの日常化
- こうとう学びスタンダードNSの定着
- Challenge Wednesdayの活用
(主体的な活動)
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 英語・外国語活動の充実(英語専科)
- 算数の少人数学習指導(習熟度別・T.T)
- 教員の授業力向上のための校内研究
- OJT研修の充実



運動大好き浅竖っ子

- こうとう学びスタンダード(体力)の実践
- わくわくタイムの充実
- オリパラ教育レガシーの推進
- ポッチャ体験と障害者スポーツの理解
- トップアスリートによる特別授業
- 休み時間の遊び(校庭・体育館)の確保
- 栄養士との協働(健康の保持・増進)
- PTA・地域スポーツ施設との連携



「学校が楽しい」と
回答する浅竖っ子
を90%に!
(R7年度88.1%)

みんながかがやく学校



江東区立水神小学校

住 所 〒136-0071 江東区亀戸 5-22-22

電 話 03-3681-1952

FAX 03-3682-0185

校 長 千葉 一知

副 校 長 矢吹 聡

教職員数 21名



(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	37	47	53	57	43	54	291
学級数	2	2	2	2	2	2	12



水どん

みんな、かがやく！ ★ TEAM 水神小とともに

《教育目標》

- ☆自ら学び深く考える子
- ☆明るく思いやりある子
- ☆じょうぶでたくましい子

《みんなが幸せになれる学校》

- ☆児童が「通いたい！」学校
- ☆保護者が「通わせたい！」学校
- ☆地域が「応援したい！」学校
- ☆教職員が「働きたい！」学校

【知】◆学習意欲の喚起・

基礎学力の定着◆

- 体験的な学習の充実
- ・地域や外部のゲストティーチャーを積極的に招聘
- ICTの有効活用
- ・他児童との情報共有による学び合いや表現活動
- ・学習アプリによる反復学習
- 学校図書館活用
- ・読書タイムや読書旬間の設定
- 水神チャレンジ教室（補習教室）の開催



【徳】◆警視総監賞受賞

伝統ある鼓笛活動◆

- 年間計画に基づいた異学年教え合い活動
- 交通安全鼓笛パレード
- 鼓笛譲渡式
- 外部講師によるレベルアップ鼓笛



【徳】◆異学年交流◆

- 異学年で構成されるたてわり班による活動
- ・なかよしタイム ・全校遠足

【体】◆体力の向上◆

- 主運動につながる運動「わくわくタイム」と運動量を確保した体育授業
- なわとび週間やマラソン週間の実施



【体】◆伝統ある健康教育◆

- 歯科保健教育
- ・全学年で歯科授業を実施
- ・東京都学校歯科保健優良校（昭和60年より受賞41回）

◆環境教育◆

- カーボンマイナスこどもアクション
- 毎年連続受賞

◆江東きッズクラブ水神◆

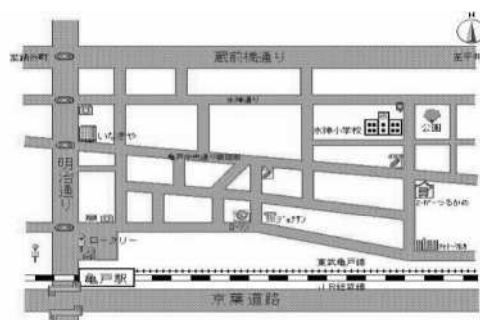
- 放課後や長期休業中も異学年で交流
- 勉強会や読書、運動、ゲーム
- 季節に応じた楽しいイベントや工作

◇沿革◇

○昭和 35 年	4 月	江東区立水神小学校開校
○平成 26 年	1 月	江東区教育委員会研究協力校研究発表
○平成 29 年	11 月	カーボンマイナスこどもアクション最優秀賞
○令和 2 年	3 月	東京都教育委員会 子供の体力向上推進優秀校
○令和 2 年	11 月	開校 60 周年記念式典挙行
○令和 2 年	11 月	カーボンマイナスこどもアクション最優秀賞
○令和 5 年	11 月	水神小学校鼓笛隊 警視総監賞受賞
○令和 5 年	12 月	江東区教育委員会研究協力校研究発表会
○令和 7 年	11 月	開校 65 周年記念集会開催
○令和 8 年	2 月	東京都学校歯科保健優良校受賞（連続 41 回）

◇交通機関◇

- ◆1. JR 総武線 亀戸駅 西口下車 徒歩6分
- ◆2. 都営バス
 錦・14系統 「亀戸駅前通り」下車 徒歩7分
 亀・21系統 「亀戸駅前」下車 徒歩6分



江東区立第一大島小学校

住 所 〒136-0072 江東区大島2-41-4

電 話 03-3684-4312

FAX 03-3636-9730

URL <http://1dai-sho.koto.ed.jp>

校 長 松下 由美子

副校長 藤原 美香

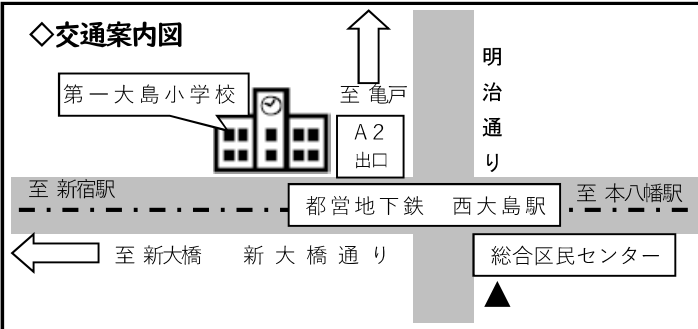
教職員数 31名

令和8年5月1日現在



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
児 童 数	86	75	83	65	77	89	475
学 級 数	3	3	3	2	3	3	17

◇交通案内図



◇沿革



明治24年、沖島小学校と永平小学校の2校が合併し、南葛飾郡大島村元大島12番地に児童数253名、教員数7名で、大島尋常小学校として、江東区では4番目に開校する。

令和2年12月に開校130周年記念式典を挙げる。

令和7年度に開校135周年を迎えた。

◇交通機関

◎都営地下鉄新宿線「西大島」駅下車 A2 出口より徒歩1分

◎JR「錦糸町」駅より 都営バス「都07」系統 門前仲町行き「西大島駅前」バス停下車徒歩3分 ▲印

教育目標

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、「自らの人生の舵取りをすることができる」「民主的で持続可能な社会の創り手」をみんなで育てる。

- 明るい子・・・すすんで体力保持・増進に努め、健康で楽しい学校生活を送る児童を育てる。
- 考える子・・・新たな問いを見だし、自ら課題を設定して追求する児童を育てる。
- ◎ 助け合う子・・・自己肯定感を高め、自他を大切に、互いに認め合い支え合う児童を育てる。

重点項目

豊かな人間性の育成

- 生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育てます。
- ①思いやりの心を育み、優しい言葉、相手の気持ちを考えた言動ができるよう道徳教育の推進
- ②自己肯定感を育み、互いのよさを認め合い学び合う特別活動の充実

確かな学力の向上

- 基礎・基本を定着させ、個に応じた指導を行います。
- ①基礎的・基本的学習内容の着実な定着とともに、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善
- ②学び方スタンダードの指導の徹底と学習規律の定着

たくましい心と体の育成

- 体力・運動能力の向上を図るとともに、健康安全の保持・増進に努めます。
- ①わくわくタイムの充実と外遊びの推進による運動好きな子どもの育成
- ②体力テストを考察して基礎的な運動能力の向上
- ③家庭と連携した生活習慣の改善

いちばん
だいすき



みんなのえがお

地域と連携・協働する教育の推進

- 開かれた学校づくりを進め、地域人材や地域資源を活用して、教育の充実を図る。
- ①交通安全、生活安全について児童の意識の向上
- ②ホームページの充実による情報発信

*交通量の多い本校の通学域は、登校の安全を担保するため、地域の方々の協力により登校班での集団登校を行っています。学校選択の際の参考にしてください。

江東区立第二大島小学校

住 所 〒136-0072 江東区大島3-16-2

電 話 03-3684-4315

FAX 03-3636-9731

URL <http://2dai-sho.koto.ed.jp>

校 長 佐 香 哲 哉

副 校 長 井 上 由 美

教職員数 26名



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児 童 数	63	51	65	57	63	67	33	399
学 級 数	2	2	2	2	2	2	5	17

(5月1日現在)

◇主な行事

- ◆ NIDAI Sports FES (運動会) 5月23日(土)
- ◆ 二大っ子遠足 11月13日(金)
- ◆ 学芸会 12月11日(金)、12月12日(土)
- ◆ 道徳授業地区公開講座 6月23日(火)



〈第二大島小学校の教育〉



二大小マスコットのニッキー

《教育目標〈育てたい児童像〉》

◎深く考える子

・自ら課題を見付け、その解決に向けて試行錯誤しながら主体的に学習に励む子

○思いやりのある子

・多くの人とのかかわりを通して、自他のよさや違いを認め、互いに尊重し合う子

○元気な子

・進んで運動に取り組み、身体を鍛え、困難なことにも粘り強く挑戦する子

【確かな学力の保障】

- ◆基礎・基本の定着
- ◆読書活動の充実
- ◆体験的な学習の充実

【豊かな心の醸成】

- ◆道徳教育の充実
- ◆思いやりの心の育成
- ◆地域を大切にする心の育成

【健康な体の育成】

- ◆体力・運動能力の向上
- ◆運動の日常化
- ◆オリ・パラ教育のレガシー事業推進

＜学校経営の基本理念＞

児童一人一人を大切にした教育の推進

～ にこにこ みんなの笑顔！ だい すきみんなの二大小～

～目指す学校像～

□ 開かれた学校

①情報の積極的な公開 ②学校評価の充実 ③学校公開の工夫

□ 安全・安心な学校

①いじめ見のがし0を目指して ②自尊感情の育成 ③防災への備え

} 広く都民(保護者・地域)から
信頼される学校

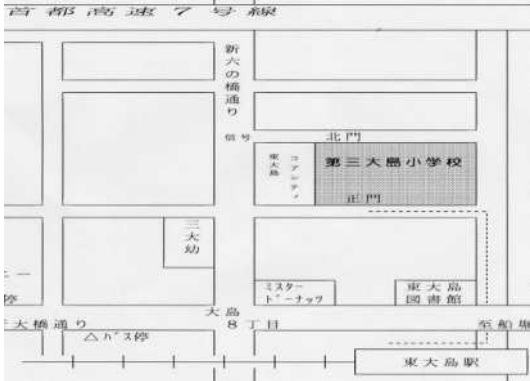
令和 11～12 年度に校舎等の改修工事が予定されています。

江東区立第三大島小学校

住 所 〒136-0072 江東区大島9-5-3
電 話 03-3681-9204
FAX 03-3636-9732
URL <http://3dai-sho.koto.ed.jp>
校 長 大森 千里
副 校 長 古川 日出子
教職員数 23名



◇ 交通案内図



◇ 交通機関

- ◆都営地下鉄新宿線 「東大島駅」下車 徒歩5分
- ◆JR 総武線「亀戸駅」より 都バス[亀24] 葛西橋行
「東大島駅」下車 徒歩5分
- ◆東西線「東陽町駅」より都バス[門21] 東大島行
「東大島駅」下車 徒歩5分
- ◆JR 総武線「錦糸町駅」より都バス[錦28] 東大島行
「東大島駅」下車 徒歩5分

◇ 校章について

学校を中心に旭日が輝くイメージをデザインした。旭日は熱き心を現し、正しく強く誠ある人間になれるよう日々精進を重ねる「三大の子」の気概を示したものである。



目指す学校 ○人権尊重・相互尊重の精神に満ちた「みんな、かがやく」学校 ○こどもの可能性を信じ、一人一人のよさを引き出し伸ばす学校 ○「どんな人になりたいか」を問うこどもの可能性を信じ全力で支える学校 ○こどもと教職員が「ともに」成長する、学びつづける学校 ○多様な教育資源を生かし、家庭・地域・関係機関と協働する学校	学校教育目標 ●よく考え、すすんで学ぶ子 ○思いやりのあるやさしい子 ○健康で明るい子 ○力を合わせてやりぬく子	目指す児童像 ○命を大切に相互の違いを認め合い尊重する 心豊かな児童 ○自分たちで考え行動する かしこい児童 ○自分のよさや価値を自覚し粘り強く取り組む しなやかな児童 ○心も身体も健やかで自信をもって取り組む たくましい児童
どの子も取り残さない学校 ○人的・物的環境のユニバーサルデザイン ○特別支援教室（ひまわり教室）の充実 ○学習支援員の活用 ○「いじめ防止基本方針」の徹底 ○校内別室指導の充実を活用 ○「Action24」の徹底 ○「KOTOこどもかがやきプラン」の活用 ○QU調査の活用と安心・安全で楽しい学校づくり	心豊かでしなやかなこどもを育てる ○いじめ、不登校の未然防止、迅速な対応・早期解決 ○違いを認め、互いに早期し合う精神 ○自己肯定感の涵養 ○異学年交流・縦割り班活動 ○個別支援教育の充実 ○栽培活動の充実	目指す教師像 ○人間の生命・権利・個性を尊重する教師 ○教育公務員としての自覚と責任をもち、都民から信頼される教師 ○児童・保護者・地域から進んで学び、教育活動の質を高め続ける教師 ○コミュニケーションを深め、組織の一員として互いに協力し合う教師
健やかでたくましい身体を育てる ○安全で安心な学校 ○運動量の確保と体力向上 ○健康な生活についての知識理解と意識の向上	自分たちで考え行動する学びを支援する ○自分たちで考え行動する学びの場の創出と全校展開 ○基礎的・基本的な学習内容の確実な定着 ○学びスタンダードに基づく授業改善 ○生成AIとデジタル教科書等の有効活用	街ぐるみで育てる ○地域に親しみ、地域に貢献しようとする児童の育成 ○学校運営協議会の円滑な運営（コミュニティースクール） ○町会、PTA、三大小おやじの会、三大小マザーズ、三大おはなし隊との協働 ○教育施設、商店街、企業等を活用した職場体験学習 ○地域の環境や施設を活用した教育活動の推進 ○教育活動の公開 情報発信

【沿革】

大正	15年	4月	3日	南葛飾郡第三大島尋常小学校として大島7丁目440番に開校
昭和	7年	10月	1日	東京市城東区第三大島尋常小学校と改称
	15年	4月	1日	東京府東京市第三大島国民学校と改称
	16年	4月	1日	東京都第三大島国民学校と改称
	22年	4月	1日	東京都江東区立第三大島小学校と改称
平成	10年	2月	10日	カナダ・サリバン小と国際姉妹校提携（隔年ごとの相互訪問）
	12年	1月	11日	校地を大島9丁目5番地3号に移し、新校舎完成
	12年	6月	12日	校舎移転・落成記念式典挙行
	17年	10月	1日	開校80周年記念式典挙行
	19年	11月	1日	江東区教育委員会研究協力校研究発表会（体育科の指導の充実を目指して）
	27年	11月	14日	開校90周年記念式典挙行
	28年	4月	1日	江東区教育委員会研究課題校
	29年	4月	1日	平成29～令和3年度オリンピック・パラリンピック教育アワード実践校
	30年	4月	1日	平成30・31年度 東京都人権尊重教育推進校
令和	元年	10月	25日	平成30・31年度 東京都人権尊重教育推進校 研究発表会
	2年	12月	22日	開校95周年児童記念集会
	7年	11月	1日	開校100周年記念式典挙行
	8年	4月	1日	令和8年度江東区ICT教育推進協力校

令和 11～13 年度に校舎等の改修工事が予定されています。

江東区立第四大島小学校

住 所 〒136-0072 江東区大島 6-7-8
電 話 03-3681-9935
FAX 03-3636-9733
URL [http:// 4dai-sho.koto.ed.jp](http://4dai-sho.koto.ed.jp)
校 長 田中 大輔
副 校 長 舟橋 禎吉
教職員数 24名

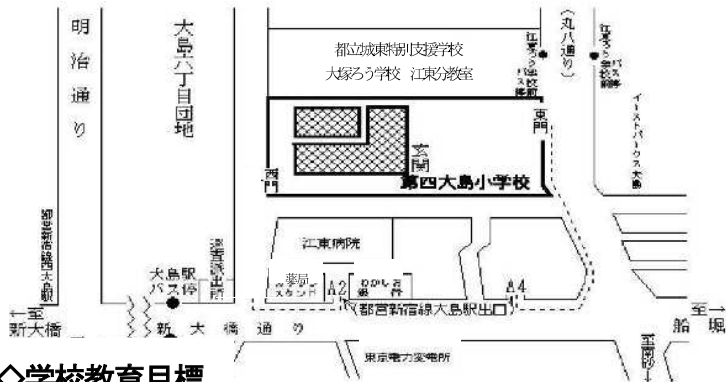


5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児 童 数	67	58	73	71	64	77	410
学 級 数	2	2	3	3	2	3	15



◇交通案内図



交通機関

- ◆都営地下鉄新宿線
「大島駅」下車 徒歩2分
- ◆都営バス「亀21」系統
「城東特別支援学校前」下車 徒歩1分
- ◆都営バス「亀24」「草24」系統
「大島駅」下車 徒歩2分



◇学校教育目標

◎よく考え進んで学習する子 ○心豊かで思いやりのある子 ○心身ともにたくましく健康な子

経営のスローガン「大 好き 四 大 小 学 校 おお きな心で 自慢の 小 学 校 大 きく じ っ く り ま っ す ぐ 育 ち ま す。」

経営理念

常に考え方の更新（＝思考のアップデート）の意識をもち、すべての人の心理的安全を確保し、こどもも、保護者も、地域も、教職員も「成長を実感できる」学校を目指す。

・こどもを主体とした教育の推進

何事にも失敗を恐れず、挑戦できる環境整備とこども主体の行事や学級活動の充実を通して、主体的に学ぶ力を育成する。

・基礎学力の定着と論理的思考力の向上のための授業の工夫

個別最適な学びと協働的な学びを推進し、基礎学力の定着と論理的思考力の向上を目指す。

・豊かな心の育成

特別支援学校等との交流や道徳教育の充実を通して、多様性を認め合う児童を育成する。

・「ともに」育ちあう学校・家庭・地域の連携

地域人材を活用した体験活動や授業の推進と、地域行事への参加を通して、三者が協力して児童を育成していく。



◇沿革

昭和33年 4月 1日	開校、5月28日	開校式挙行・開校記念日とする。
平成 元年 4月 6日	現在の校舎完成	通学帽制定
平成17年 1月21日	江東区教育委員会研究協力校研究発表会	
平成28年11月 4日	江東区教育委員会研究協力校発表	
平成30年10月27日	開校60周年記念式典	
令和 5年12月 7日	開校65周年記念集会を実施	
令和 6年 4月	令和6年度・7年度	東京都授業改善推進拠点校指定
令和 8年 2月20日	令和6年度・7年度	東京都授業改善推進拠点校研究発表会



江東区立第五大島小学校

住所 〒136-0072 江東区大島 8-40-13

電話 03-3681-5011

FAX 03-3636-9734

URL <http://5dai-sho.koto.ed.jp>

校長 佐藤 美香

副校長 倉方 士郎

教職員数 29名

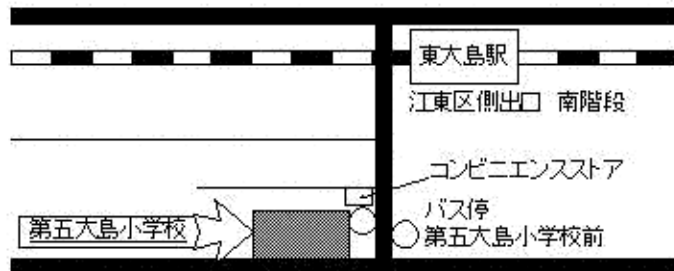


(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	仲よし	合計
児童数	57	55	57	65	57	47	28	366
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16



◇交通案内図



◇交通機関

- ◆都営地下鉄新宿線
東大島駅 下車 徒歩 5分
- ◆都営バス 亀24系統
第五大島小学校前 下車 徒歩 1分
- ◆都営バス 門21系統
第五大島小学校前 下車 徒歩 1分

第五大島小学校の教育目標

よく考え、努力する子(重点)

- すすんで課題に取り組み、主体的に学ぶ子
- 自分と他者の考えを大切に自分の考えを深める子
- 自分の考えを分かりやすく表現できる子

心ゆたかな子

- 自他の生命や個性を尊重し、互いに励まし合い、協力し合い、助け合う子
- 4つの「あ」(あいさつ、あつまり、あんぜん、あとしまつ)を実践する子
- 規範意識を高め、礼儀を身に付ける子

けんこうな子

- 自らの心身の健康に関心をもち、規則正しい生活をする子
- 運動に親しみ、体力を高めようとする子

- 基礎基本の確実な定着
- 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の実現
- 読書活動の推進
- 「自分の学び」の確立
- ・週プログラムの導入・活用
- ・学びタイムの充実
- ・五大チャレンジ(低・高)

- 支持的風土のある温かい学年・学級・専科経営の実施
- ・自己肯定感の醸成
- 人権教育・道徳教育の充実
- ・道徳地区公開講座の開催
- 共生社会の一員としての人間性、社会性を育む指導の実施
- あいさつの励行

- 「体力スタンダード」の確実な定着
- 健康管理・健康教育の充実
- 食育の推進
- 学校保健委員会の開催
- オリンピック・パラリンピックのレガシー教育
- ・長なわチャレンジ、なわとび週間、持久走週間

地域とともに目指す安心安全な子どもの居場所づくり

- コミュニティスクール3年目
- ・地域防災訓練
- ・五大小ボランティアの拡充
- いじめ・不登校・問題行動等の未然防止・早期対応
- 児童の発達段階に応じた危機管理能力の育成
- 地域・保護者との連携強化や学校評価の充実

教員の授業力・資質向上

- 校内研究の推進・校内研修の充実
- 服務の厳正
- 組織的な対応による問題解決
- 学力向上を目指すカリキュラムマネジメントの実践

江東区立大島南央小学校

住 所 〒136-0072 江東区大島4-18-5

電 話 03-3636-2116 (職員室)

03-3638-1124 (ひまわり教室)

FAX 03-3636-2117

校 長 森 賢 一 郎

副 校 長 関 根 美 香

教職員数 21 名 (令和8年5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	38	22	47	42	36	51	236
学級数	2	1	2	2	1	2	10



【交通機関】

●都営新宿線	西大島駅	徒歩	7分
●都営新宿線	大島駅	徒歩	7分
●総武線	亀戸駅	徒歩	18分

大島南央小学校は、今年で開校20年目を迎えます。明るく広い校庭・玄関・体育館を備え、子供たちがのびのびと学校生活を送っています。

1 教育目標

◎学びつづける子 ○みとめ合う子 ○たくましい子

「学びつづける子」を重点とし、心と体の安全、安心をベースに「学べる学校づくり」を目指します。

2 R8年度・大島南央小の目指す未来像

『学べる学級・学べる学年・学べる学校をつくり

学べる子供を育てる』

大島南央小では、教科学習の枠を超えたすべての学校生活における経験から得られるものを「学び」と捉えています。

3 大島南央小の特色

1 言語活動の推進

- ◆声に出して覚える活動(詩文暗唱)
- ◆読み語り 読書 俳句 他

2 体験的な学習の充実

- ◆各種出前授業・体験学習
- ◆小名木川リバーウォーク
- ◆サマースクール(和太鼓・プログラミング・お話教室、昔遊び等)

3 心の教育の充実

- ◆縦割り班による活動
- ◆幼稚園・保育園との交流 他

4 体力の向上

- ◆休み時間の外遊びの励行
- ◆長チャレウィーク ◆なわ跳び月間
- ◆ジョギング月間 他

教育活動

◆学校公開 :年間3回(3期間)土曜日公開2回

◆学校説明会:年間1回

◆運動会 :5月実施

◆学習発表会:11月実施

◆新1年生入学説明会:2月実施

主な行事

指導体制

- 小規模校の利点を生かし、外部人材を含めた教職員が学級・学年を超えて児童理解に努めることで、学校全体ですべての児童を見守る体制作りを進めています。
- 関わり・対話・交流を大切にし、多様な児童が楽しく前向きに学べる関係の構築を目指しています。
- 特別支援教育の推進に取り組んでいます。(ひまわり教室拠点校)
- 外国籍児童が2割以上在籍しており、区主体の日本語指導に加え、連携している大学からも指導員の派遣を受けています。
- 地域・保護者に向け、日々の学校生活を HP で発信しています。

4 経営方針 ～「今」「ここ」から「未来」へ～

【心身の健康】

心:心が通い合う授業・家庭との連携強化・経験の蓄積による強い心の育成

体:基本的な生活習慣・運動能力の向上・食(文化)への興味関心

【安全と安心】

生活:安全安心の創造に対する主体性・地域、行政との連携・多様性の尊重

学び:ICT や教材の活用と工夫・教育環境としての教員・互いの成長を願う心

【成長】

個人:目標設定と前向きな振り返りによる、学びの獲得と活用

集団:共通の目標・協働での問題解決・集団で取り組む学習や行事

大島南央小は、「今」「ここ」を受け止め、共通の方針の下、未来(=目標)に向かう学校を目指します。

江東区立砂町小学校

住所 〒136-0073 江東区北砂4-13-23
 電話 03(3644)0703
 FAX 03(5690)4018
 URL <http://sunamachi-sho.koto.ed.jp>



校長 齋藤 克人
 副校長 小川 正樹
 教職員数 25名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	57	90	77	93	71	71	459
学級数	2	3	3	3	3	3	17

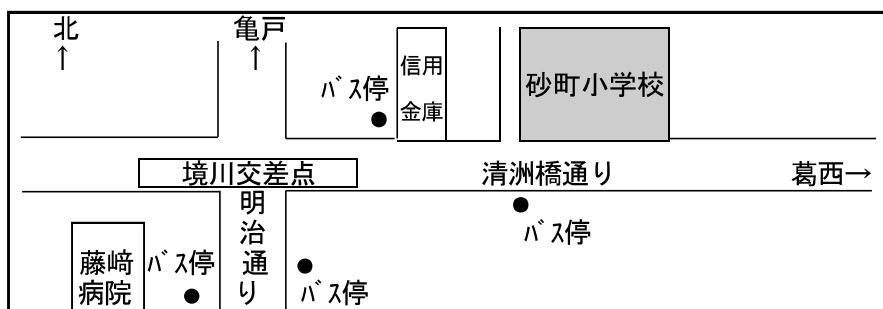


開校135周年!

沿革

明治24年11月15日 公立砂村尋常小学校開校
 令和8年11月14日 開校135周年記念集会挙行予定

交通案内図



<交通機関>

- ◆都営新宿線西大島駅下車
東京メトロ東西線東陽町駅下車
都バス『都07』 境川下車
- ◆都バス『秋26』
秋葉原駅前行き、葛西駅前行き
境川下車
- ◆都バス『両28』
両国駅前行き、東砂六丁目行き
境川下車
- ◆都バス『亀29』
亀戸駅前行き、西葛西駅前行き
境川下車



【教育目標】 ○すなおな子 ◎思いやりのある子 ○たくましい子 ○よく考える子

究極の笑顔、

挨拶、

思い遣り、

みんなが輝く砂町小学校!!

確かな学力の定着を目指します

- ◇「主体的・対話的で深い学び」の定着 → 問題解決型学習の実施, 体験的な学習活動の実施, ICT 機器とノート等を選択した授業
- ◇「思考力・判断力・表現力」の育成 → 読書活動・俳句学習の充実, 協働的な学びを学習過程に!, 見通し(ゴールイメージ)をもった学習
- ◇「個別最適な学び」の実現 → チャレンジウエズデーの有効活用, 算数の習熟度別少人数指導の充実

豊かな心の育成をします

- ◇心を育てる教育活動の推進 → 挨拶活動・道徳授業の充実, 「生命尊重」「いじめ防止」授業の実施, 規範意識の向上
- ◇「居場所のある学年・学級づくり」の推進 → 縦割り班活動の充実, 児童主体による学校・学年行事の実施, 自己肯定感の育成
- ◇キャリア教育の充実 → テーマに即した外部講師の活用

確かな体力の向上を図ります

- ◇体育学習の充実 → 「わくわくタイム」・運動量を確保した授業の実施 他
- ◇体力向上活動の充実 → 各種強化月間(週間)の設定, 外遊びの励行 他
- ◇健康づくりの推進 → 「早寝・早起き・朝ご飯」の励行

目指す学校像

- ☆児童にとって・・・毎日、笑顔で過ごせる学校
- ☆保護者にとって・・・安心して子どもを託せる学校
- ☆地域にとって・・・誇りに思い、共に歩める学校
- ☆教職員にとって・・・やりがいを感じられる学校

～開校135周年記念行事 伝統の継承と新たな創造～



江東区立第二砂町小学校

住 所 〒136-0074 江東区東砂7-17-30

電 話 03-3640-5322

FAX 03-5690-4027

校 長 神谷 なおみ

副 校 長 佐々木 京子

教職員数 29名 (5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児 童 数	94	82	96	99	102	101	574
学 級 数	3	3	3	3	3	3	18

◇交通機関

◎東京メトロ東西線「南砂町」駅下車徒歩15分

◎都営バス

亀21・亀29・門21・秋26・両28系統

「東砂4丁目」バス停下車徒歩3分

「旧葛西橋」バス停下車徒歩2分

教育目標



- よく考え進んで学習する子
- 思いやりがあり心豊かな子
- 心もからだも健康な子

教育理念

「わかる、できる、ひろがる」二砂小

目指す学校像

- ・笑顔と挨拶があふれる学校
- ・こども主体で、こどもが自ら考え、話し合い学び合う学校
- ・一人一人を大切に、個性を伸ばす学校
- ・こどもの創意工夫がいきづく学校
- ・大人が連携し、こどもたちのためにともに考え、ともに支えていく学校

令和8年度

主な沿革

- 平成12年 江東区立第二砂町小学校として開校
第二砂町小学校、第二東砂小学校の統合
児童数473名
- 平成13年 校歌制定
- 平成15年 耐震工事完了
- 平成16年 開校5周年記念
- 平成17年 給食室・トイレ改修完了
- 平成20年 水道管直管工事完了
- 平成22年 開校10周年記念
- 平成23年 江東区教育課題研究校、東京都スポーツ推進校
- 平成24年 普通教室改修工事完了、東京都スポーツ推進校
- 平成25年 校庭改修工事完了、東京都スポーツ推進校
- 平成26年 開校15周年記念、江東区教育課題推進校
江東きッズクラブ開設
- 平成29年 コーディネーショントレーニング地域拠点校指定
学校支援地域本部設立
- 平成30年 大規模改修工事
- 令和 元年 大規模改修工事終了
- 令和 2年 開校20周年記念式典
- 令和 5年 江東区教育課題研究校 公開授業研究会実施
- 令和 7年 開校25周年記念式典

<学力の向上>

自ら考え、主体的、対話的に深く学ぶ力を育てる
四学習過程にもとづき、問題解決型の授業構成を行う

<豊かな心の育成>

- 人とかかわりを通して自己肯定感を高める
- 特別活動の推進
- 人権教育の推進
- 道徳教育の推進
- あいさつに重点を置き、学校全体で取り組む
- 特別支援教育の推進

育てるこどもの姿
みんなで育てる二砂の子



<健康・体力の向上>

- すすんで外遊びや運動に取り組む子を育てる
- 体育学習の充実
- 健康的な生活習慣の確立
- 安全に対する意識と態度の育成

<保護者・地域との連携>

- 保護者・地域に開かれた学校づくりを進める
- 学校からの情報発信・受信を計画的に行う
- 地域・外部人材を活用し、教育活動の活性化を図る

*本校は、登校班での登校を実施しています。

江東区立第三砂町小学校

住 所 〒136-0076 江東区南砂 6-3-13
電 話 03-3646-4471
FAX 03-5690-4020



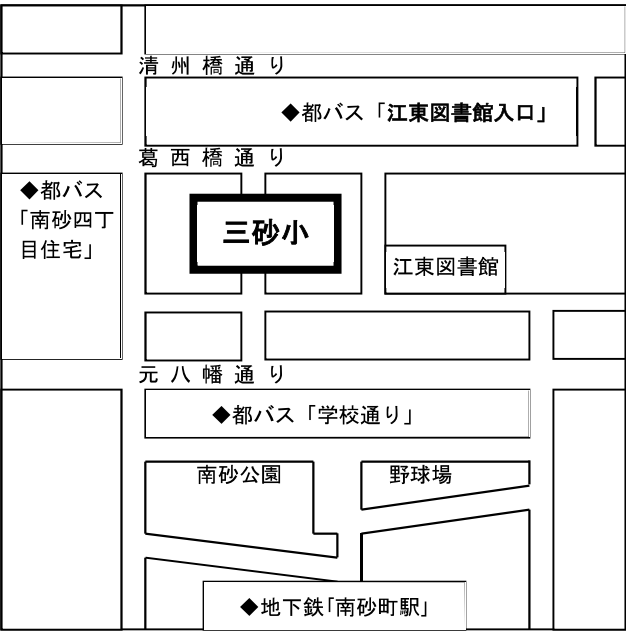
校 長 浅野 努
副 校 長 石田 貴文
教職員数 30名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
児童数	102	83	114	83	92	97	571
学級数	3	3	4	3	3	3	19



◇交通案内図



◇交通機関

- ◆東京メトロ東西線「南砂町駅」東口 下車徒歩7分
- ◆都営バス 亀21系統「学校通り」 下車徒歩3分
- ◆都営バス 門21系統「南砂四丁目住宅」下車徒歩3分
- ◆都営バス 陽20系統「江東図書館入口」下車徒歩3分

◇校章の由来



日本を代表する花、桜花の中に
三種の神器の八咫鏡を配し、これ
に校名三砂を添えてあり、文化と
教育を創り出そうという開校当時
の意気込みが表れています。

三砂小キャラクター「サンスナオン」



安全・安心と
学習権を保障する

ちがうから、みんな、かがやく！誰も排除しないまぜこぜの学校 3.0

◇教育目標

自ら考え、正しく判断し、
行動できる

ちようせんする子

- こうとう学びスタンダード(初ステージ)の推進
- 一人一台タブレットを効果的に活用した学習
- 九九の達人検定、授業内に適用問題(算数)
- 読書活動の充実(読み聞かせ、江東図書館との連携)
- 6年生全員金管鼓笛隊

感動する素直な気持ちをもち、相手の
立場や気持ちを考えて行動できる

◎心ゆたかな子

- 自分がされて嫌なことは人にしない(人権教育)、人権課題授業
- いじめ防止授業(年3回)、三砂小ピンクシャツデー
- 考え、議論する「特別の教科 道徳」(道徳授業地区公開講座)
- 情操教育の充実(雅楽鑑賞、砂村雛子、箏体験、アウトリーチコンサート)
- 異学年交流(なかよし班、クラブ活動・委員会活動)

目標達成に向けて自分の限界をこえ
ようと努力し、最後までやりとげる

きたえる子

- 体育の授業改善(運動量確保)
- 長なわチャレンジ週間(年3回)
- 運動の日常化を目指す体育活動の時間(毎週)
- 校内ボッチャ大会、KOTO ボッチャフレンドリーマッチ
- 食育の充実(給食指導、ランチルーム利用、生活科、家庭科)
- 水泳記録会、連合運動会

人情味あふれる地域の学校として愛されて97年。後援会、同窓会、町会、自治会をはじめ多くの人々が多岐にわたり強気にサポートしてくれます。20年以上続くウィークエンドスクールは本校の伝統です。学校運営協議会を設置してコミュニティ・スクールとなって3年目。これまで以上に地域・家庭・学校が手を取り合って三砂っ子を育てていきます。「完璧」ではなく過ちや失敗を許せる「寛容」を大切にしながら笑顔・友達・夢いっぱいの三砂小を目指します。

江東区立第四砂町小学校

住 所 〒136-0076 江東区南砂2-13-18

電 話 03-3644-0348

FAX 03-5690-4021

URL <https://4suna-sho.koto.ed.jp/>

校 長 太 田 智 恵

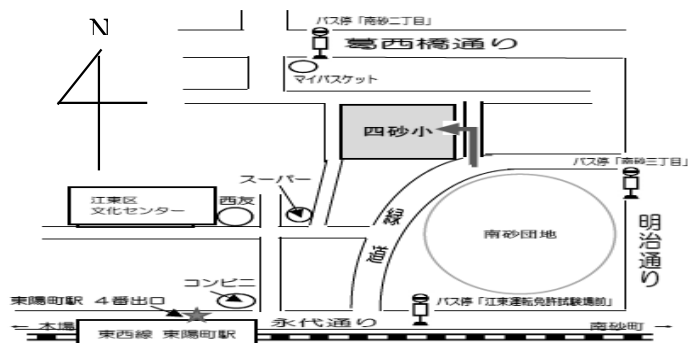
副 校 長 高 橋 純

教職員数 29名 (5月1日現在)



四砂小90周年イメージキャラクター「たす」です

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	76	62	78	65	86	107	474
学級数	3	2	3	2	3	3	16



交通機関

◆東京メトロ東西線

「東陽町駅」下車 4番出口 徒歩12分

◆都営バス

(都07)(亀21)(木11)(錦22)(陽20)

「江東運転免許試験場前」下車 徒歩 8分

(都07)(亀21)(急行05)(錦18)

「南砂三丁目」下車 徒歩 8分

(門21)

「南砂二丁目」下車 徒歩 3分

教育目標

深く考え やりぬく子

《確かな学力の定着と向上》

◎授業規律の確立

*「こうとう学び方スタンダード ネクストステージ」に基づき、こどもが主体的に学ぶ授業の実践

◎校内研究と教科担任制の推進

*わかる、楽しい授業づくり
*専門性の向上と中学校への円滑な接続
*学年全体による児童理解
*ひまわり教室との連携

◎多様な学びの保証

*一人一人のよさに応じた選べる環境作り (ICT活用、教室外の活用)
*ひまわり教室・特別支援専門員・SC・SSW等、関係諸機関との連携

夢先生プロジェクト

仲良く 思いやりのある子

《豊かな心の育成》

◎道徳教育の推進

*考え、議論する道徳授業の実践
*自己肯定感を高め夢に向かって挑戦する児童の育成

◎KOTO こどもかがやきプラン

*アクション24によるいじめの未然防止
*教師の人権意識の向上

◎多様な人々との交流

*たてわり班での清掃活動、ボッチャ等、互いのよさを認め合う活動 (オリ・パラ教育レガシーアワード校)
*地域、外部人材の登用による多様性への気付き

イングリッシュキャラバン

明るく 元気な子

《健やかな体、 たくましい心の育成》

◎体育科の授業改善と体力向上

*コーディネーショントレーニングやわくわくタイムの実施
*体育実技研修によるこども主体の授業実践
*「する・見る・支える・知る」といった多様な体験

◎食育・健康教育の推進

*自国の食文化の体験・理解
*感染症や怪我の防止・予防を進める環境整備、安全指導



グリーンピースのさやむき



江東区立第五砂町小学校

住 所 〒136-0074 江東区東砂 8-11-5

電 話 03-3646-4474

FAX 03-5690-4022

校 長 加藤 勲

副校長 川西 洋介

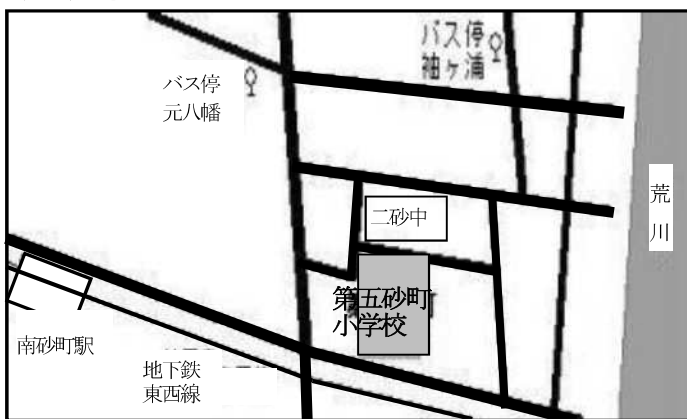
教職員数 46名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	107	143	129	129	111	125	23	767
学級数	4	5	4	4	4	4	3	28



◇交通案内図



◇交通機関

◆東京メトロ 東西線

南砂町駅下車 徒歩12分

☆快速電車は停車しません。

◆都バス「亀21」東陽町 ⇄ 亀戸駅

元八幡または袖ヶ浦下車 徒歩5分

◇校章について

五砂の文字に波をあしらい、東に荒川、南に東京湾を望む本校の位置を象った洋々発展の意気を示しています。



こすなっ子は すなおで なかよくかしこい子

教 育 目 標

よく考える子
思いやりのある子
健康な子
最後までやりぬく子

自ら課題をもち、進んで解決する態度を育てる
自他を大切にし、仲良く行動できる力を育てる
自分の体と心について知り、健康な生活ができる力を育てる
自らめあてをもち、ねばり強くやり遂げる態度を育てる

子どもも教師も保護者・地域も

元気な学校を目指して

○生涯にわたっての学び

- ・知りたい、伝えたい子を育むために…実感を伴った理解ができる学習活動、児童が「楽しい」と思える授業の展開
- ・学ぶ意欲を高めるために…読書活動（朝読書・読書週間等）の充実、1人1台端末を活用した学習活動

○心の教育の充実

- ・挨拶の励行、下駄箱の靴揃え……朝のあいさつ、廊下での会釈、かかとの揃った靴
- ・いじめをしない・させない・ゆるさない…計画的ないじめ予防、スクールカウンセラーや関係機関と連携し、子どもの心に寄り添う指導

○安心・安全な学びの環境

- ・充実した学習環境……冷暖房完備の教室・体育館、屋上プール
- ・誰もが使いやすい校舎……スロープ・エレベーター、誰でもトイレ
- ・ビオトープの自然……生き物たちとふれ合う豊かな空間



実感を伴った理解をめざした学習活動



登校時のあいさつ

令和8年7月～令和11年11月まで校舎等の改築工事が行われています。工事期間中は、令和10年12月まで現校舎で授業を行い、令和11年1月からは新校舎で授業を行う予定です。

※工事期間は、現時点での想定工事期間になります。計画内容や関係法令等改正に伴い、工期が変更になる場合があります。

江東区立第六砂町小学校

開校71周年

住 所 〒136-0073 江東区北砂6-26-6

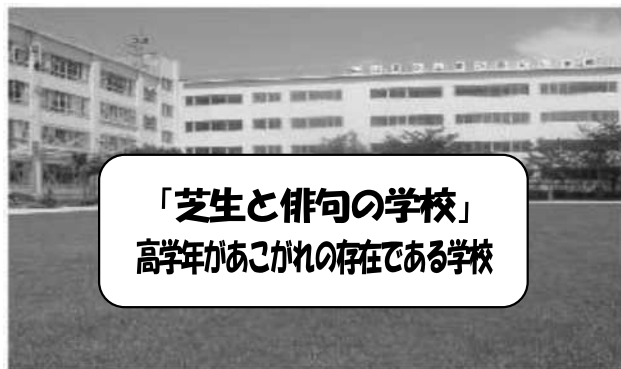
電 話 03-3646-4462

FAX 03-5690-4023

校 長 日 下 部 和 彦

副 校 長 三 上 順 也

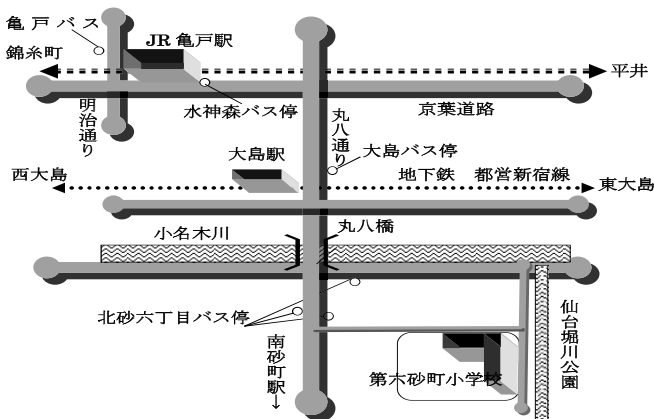
教職員数 20名 (5月1日現在)



「芝生と俳句の学校」
高学年があこがれの存在である学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児 童 数	49	39	46	52	48	53	287
学 級 数	2	2	2	2	2	2	12

◇アクセス



開校71周年を迎える六砂小

芝生の校庭を舞台に様々な学習や活動をする学校生活

- 子供たちの本当に素直な心と優しい心
- 地域・保護者の方の温かいご支援
- 全ての子供たちの行動を認め励ます教職員

六砂小を支えてくださる地域や保護者の皆様に感謝の気持ちをもちながら、子供と教職員が育つ学校を目指していきます。

- ・高学年があこがれの存在である学校
- ・子供を育てる情熱と向上心をもった教師が育つ学校
- ・地域コミュニティの中心としての学校

小規模校の特徴を生かし、
一人一人を大切にする学校を目指します。

六砂っ子の笑顔のために、皆さんで協力してまいりましょう。

本年度スローガン「感じて、想って 考えて、動く」

◆都営新宿線／大島駅下車徒歩15分

◆JR／亀戸駅下車（都バス乗換）

「亀21・23」系統

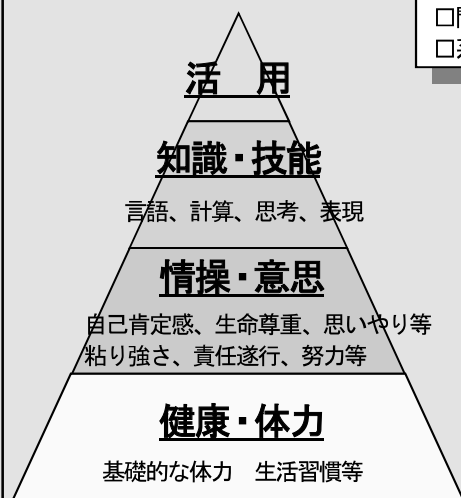
亀戸（水神森）→北砂六丁目下車3分

◆東京メトロ東西線／南砂町（都バス乗換）

「亀23」系統 南砂町駅→北砂六丁目下車4分

「亀21」系統 学校通り→北砂六丁目下車4分

「六砂の子」成長ピラミッド



- 問題解決的な学習の充実（各教科・総合的な学習の時間）
- 系統的な学級活動（話し合い活動）

- 丁寧な文字 □朝読書（週3回） □俳句の日 □音楽朝会（月1回）
- 高速学習（百ます計算・高速音読・高速漢字） □百人一首・辞書引き

- 朝のあいさつ運動（全学年）
- 学習のきまり（こうとう学びスタンダード） □鼓笛隊 □係・当番活動
- 行事（林間学校、移動教室、運動会等） □音楽会（12月）
- 温かい学級経営（温かい言葉とかかわり） □俳句教育の充実
- 縦割り班（清掃・給食・交流遊び・遠足・新年子供会） □走り方教室

- 運動月間（なわとび1月～）
- 長縄チャレンジ週間（年3回）
- 六砂スポーツフェスティバル（5月）

家庭・地域等との連携

- ◆地域訪問の実施（4月） ◆個人面談の実施（7月・3月） ◆保護者会（年3回） ◆生活リズム向上週間 ◆家庭学習帳・家庭学習手引き
- ◆学校生活アンケートの活用 ◆食物アレルギー対応 ◆キャリア教育（職場意識） ◆障害者との交流（ユニバーサルデザイン） ◆鼓笛隊（砂町パレード）

江東区立第七砂町小学校

住所 〒136-0074 江東区東砂3-21-5

電話 03-3644-0543

FAX 03-5690-4024

URL <http://7suna-sho.koto.ed.jp/>

校長 中村 敬子

副校長 蜂谷 顕一

教職員数 30名



祝68周年

令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	65	53	66	74	78	73	409
学級数	2	2	2	3	3	3	15



【交通案内図】

◇交通機関

◆都営バス

「第七砂町小学校前」下車 3分

- 門21 都営新宿線東大島駅
⇔ 東京メトロ東西線門前仲町駅
⇔ 東京メトロ東西線東陽町駅
- 亀24 JR総武線亀戸駅 ⇔ 葛西橋

七砂小のマスコット

『ななちゃん』



こどもをまんやかに置き、教職員・保護者・地域が

「こどもを輝かせること」で結ばれている学校



教育目標

- すすんで学び、よく考えるこども
- 優しい心をもち、助け合うこども
- からだをきたえ、やりぬくこども



＜楽しく学び合う授業＞

担任、少人数担当、講師が協力して算数の学習に力を入れます。特に問題解決学習に力を入れ、学力の定着を図ります。また、保護者、地域の方々、専門家を積極的に導入し、本物にふれる体験重視の教育を行います。

＜金管バンドクラブ＞

金管バンドクラブの活動を通して音楽による豊かな情操と、やり抜く力や思いやりの心を育てます。各種のコンクールや発表会、地域の行事等に参加して練習の成果を披露しています。

＜研究授業を通して高め合う教職員＞

今年度は、生活科・総合的な学習の研究2年目に入り、各教科において課題設定力・課題対応力の向上を更に図っていきます。児童一人一人が自主的に自分で考え、教師とともに一つ一つ探究型の授業に取り組みます。また、学習用端末をはじめとするICT機器を効果的に活用し、授業の質の向上を図り、個別最適な学びと協働的な学びの実現を図っていきます。



＜おはようスタディ・おはよう読書＞

火・水・金曜日の朝の時間に言語学習、コミュニケーション力の向上、読書、読み聞かせ、計算練習、タイピング、YOMUよむワークシートなど、担任と一緒に学習し、児童に必要な基礎的な知識・技能の定着を図ります。

＜みんな なかよし七砂小＞

心のこもった挨拶ができ、一人一人が認められる学校を目指しています。ペア学年遠足や校内清掃など1～6年のたてわり班の交流活動を行います。たてわり班での遊びを行い、思いやりのある児童を育て、互いに認め合い、助け合う関係づくりに努めます。

現在、校舎等の改築工事中（～令和9年9月）のため、令和9年7月まで仮校舎（旧大島南小跡地：大島5-52-15）で授業を行っています。通学は、徒歩通学となります。令和9年8月より本校舎へ戻ります。

江東区立小名木川小学校

住 所 〒136-0072 江東区大島 5-52-15（仮校舎）
 〒136-0073 江東区北砂 5-22-10（本校舎）
 電 話 03-3644-2029
 F A X 03-5690-4025
 U R L <https://onagigawa-sho.koto.ed.jp/>

校 長 山内 大輔

副 校 長 飯塚 克則

教職員数 25名

5月1日現在



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児 童 数	67	38	60	52	39	52	32	340
学 級 数	2	2	2	2	2	2	4	16

《学校経営理念》

みんなでつくる、みんなが楽しい
小名木川小学校

おなぎ 大好き！

通 いたい 学ぶ喜びや楽しさを味わえる学校
 通わせたい 安心して任せられる学校
 働 き たい 誇りとやりがいのある学校

教育目標 目指す児童像

自ら考え行動する子

思いやりのある子

明るくたくましい子

お なぎがわスタイル

- 「つかむ・考える・学び合う・まとめる」問題解決型学習スタイル実践
- 「つかむ」「振り返る」生活目標
- 地域学習、安全教育の推進

な かよく いつでも だれとでも

- 特支学級及び異学年の行事・教科交流、保幼小連携活動

き き方名人 き りかえ上手

- 「聴くこと」の徹底

が んばる いつでも いつまでも

- 明確なめあての設定と自己評価の場を設けた教育活動
- 長なわ・短なわ・ランニングのチャレンジ週間

わ っしょい みんなで おなぎがわ

- 挨拶運動
- 児童と共に創り上げる学校行事
- 地域・保護者参画型の教育環境作り

安心・安全 開いて 信頼 おなぎがわ

- 登下校の見守り（おなぎっこサポート・町会）
- 全校での安全指導 避難訓練
- セーフティ教室
- 情報発信
- 教育相談（SC SSW）
- 外部講師の招聘

江東区立東砂小学校

住所 〒136-0074 江東区東砂2-12-14

電話 03-3648-5818

FAX 03-5690-4026

校長 小坂 美智子

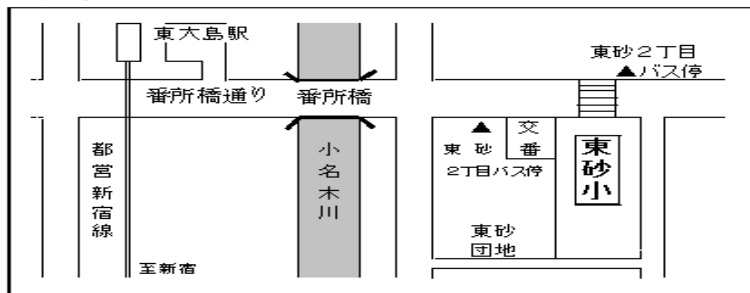
副校長 小竹 宏明

教職員数 23名



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	36	55	36	45	46	46	16	280
学級数	1	2	2	2	2	2	2	13

◆交通案内図



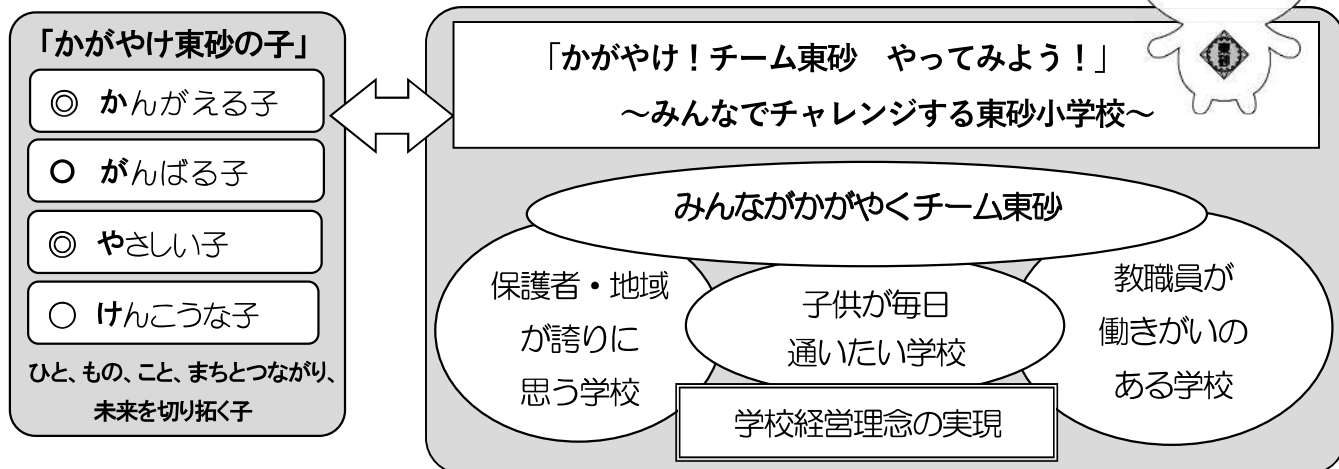
◇交通機関

- ◆JR亀戸駅より都営バス
 - ・「亀24」葛西橋行 東砂2丁目下車
- ◆都営新宿線東大島駅より都営バス
 - ・「門21」門前仲町行・東陽町駅行
 - ・「亀24」葛西橋行 東砂2丁目下車
 (地図内▲印のバス停に止まります)

◇学校経営の理念 ～保護者・地域と共に子供を育てる東砂小～

1 教育目標

2 東砂小の教育ビジョン



3 経営目標

重点領域

- ① 確かな学力の定着:「問題発見・解決能力」の育成
- ② 豊かな心の育成:「人間関係形成力」
「人権尊重の精神」の育成
- ③ 健やかな心身の成長:「主体的に健康で安全な生活
に取り組む子」の育成
- ④ 学校・家庭・地域との連携:「困難を乗り越える力」
の育成

快適な教室環境

- ◇安全→ 安全指導・安全点検・防災教育
事故防止等の徹底
- ◇きれい→ 整理整頓・美化活動
あいさつ・言葉遣い
- ◇きまり→ 集団生活のルール・SNSルール
規範意識
基本的な生活習慣の定着

めざす教師像

- 1 愛情と情熱をもって子供に向き合う教師
- 2 自ら学び続ける教師
- 3 組織、チームで協働し、誠実に関わる教師

江東区立北砂小学校

住所 〒136-0073 江東区北砂1-3-36

電話 03-3649-3463

FAX 03-5690-4028

校長 小島 崇義

副校長 大西 栄蔵

教職員数 31名

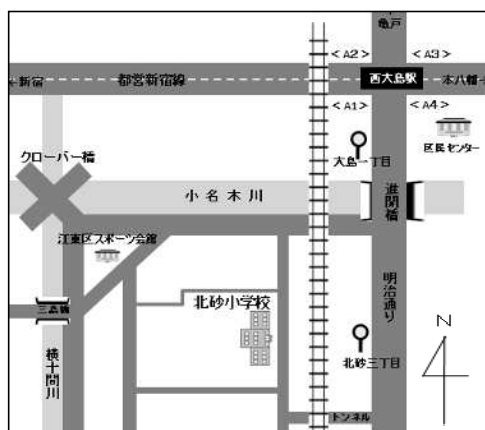


(5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	98	87	68	87	65	74	479
学級数	3	3	2	3	2	3	16

◇交通案内図

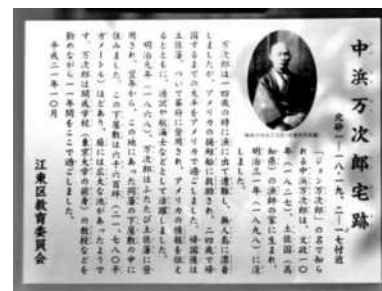


◇交通機関

◆都営新宿線
「西大島駅」下車 徒歩12分
「住吉駅」下車 徒歩15分

◆都営バス 都07・両28系統
「北砂三丁目」下車 徒歩8分

◆都営バス 秋26系統
「北砂一丁目」下車 徒歩8分



北砂小学校正門前には、ジョン万次郎の名で知られる、「中浜万次郎宅跡」の碑があります。

江東区立北砂小学校グランドデザイン2026

みんなで作る、みんなが幸せになる学校
みんなのえがおがやくだめの『そうぞう』



○やさしい子

経営理念

- 一人一人の可能性を拓く（個の尊重）
- 学びの楽しさを追求する（本質の探究）
- 共に育ち、未来を創造する（共創と社会性）

○かんがえる子

めざすこどもの姿

- 【自立】自分で考え、踏み出す子
- 【協働】多様な仲間と、高め合う子
- 【創造】失敗を恐れず、つくり出す子

○げんきな子

めざす学校の姿

- 安心・安全で「挑戦」を称える学校
- 対話が溢れ「つながり」を実感する学校
- 心身の健康を育み「笑顔」が循環する学校

◆やってみよう ◆ありがとう ◆なんとかなる ◆ありのままに

確かに生きる学力

- STEAM教育の充実
- わかる・できる・つながる授業
- 多層指導モデルMIMの活用（1年生）
- 読み・書き・計算学習の徹底
- AIの活用（学び分析・自己調整学習）
- 俳句・短作文の日常化
- デジ・アナ・リアルで広がる学び
- 自学自勉力（チャレンジ・ウェンズデー）

豊かな心と健やかな体

- みんなでつくる楽しい特活・行事
- 心理テスト「アセス」の活用
- ポジティブ行動支援の浸透
- 命を守る学び
- マイ・ボディ・マネジメント
- デジタルウェルビーイング
- 走る北砂！跳ぶ北砂！投げる北砂！
- みんな楽しいタグラグビー

心と力を含わせて

- チーム学年経営
- いつでも学校公開
- ほぼ日北砂ホームページ・学校DX
- 50周年レガシー「地域は学び場」
- コミュニティ・スクール「北砂」
- つながる学び舎「保幼小中連携」
- 北砂邦楽合奏団
- よさこい鳴子踊り

学校はまちがうところだ まちがうことがなぜわるい そんな学校作るうやあ

令和10年7月～令和12年2月に校舎等の改修工事が予定されています。
工事期間中は、令和11年12月まで仮校舎（旧南砂西小：南砂2-3-13）で授業を行う予定です。通学は、徒歩通学となる予定です。
※工事期間は、現時点での想定工事期間になります。計画内容や関係法令等改正に伴い、工期が変更になる場合があります。

江東区立南砂小学校

住所 〒136-0076 江東区南砂2-3-21
電話 03-3645-5008
FAX 03-5690-4030
URL <https://minamisuna-sho.koto.ed.jp>
校長 石川 千影
副校長 姉崎 英夫
教職員数 34名



令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	39	51	41	50	72	64	22	339
学級数	2	2	2	2	3	2	3	16



◇交通案内図



◇校章の由来



南砂小学校の母体となった南砂住宅1～8号棟を8つの突起で表し、校歌の中にある「世界へ羽ばたくこども」から羽を周りにデザインした。色は、緑色と水色。これは江東区の「緑と水の町」をイメージした。

◇主な沿革

- 平成12年4月1日 南砂西小学校と南砂東小学校が統合し、南砂小学校として開校。
- 令和2年4月1日 情緒特別支援学級「すまいる」を開設
- 令和2年12月12日 開校20周年記念式典挙行



開校20周年マスコット「みなみん」

◇交通機関

- ◆東京メトロ東西線「東陽町」駅下車 東出口（4番） 徒歩8分
- ◆都バス
① 錦糸町駅～門前仲町駅（都07） 「江東運転免許試験場前」「南砂3丁目」下車 各徒歩5分
② 錦糸町駅～東京駅北口（東22） 「東陽町駅」下車徒歩10分

みんな げんきな
みなみすな

教育目標

人権尊重の精神に基づき、豊かな人間性を育て、心身ともに健全で、国際社会に生きる一員としての自覚をもち、生涯を通じて学び続け、社会に貢献できる児童を育成するために、次のように定めています。

- 思いやる子・・・集団の一員として自覚をもち、相手の立場にたって考えたり、行動したりする児童
- 考える子・・・自ら課題を見つけ、その解決のために創造的かつ柔軟に考える児童
- 元気な子・・・自らすすんで心身を鍛え、健康かつ安全な生活を送る児童
- きまりを守る子・・・規範意識をもち、集団生活の中で、社会の基本的なルールを守ることができる児童

南砂小学校の教育目標を達成するための基本方針

「豊かな心の育成」	「学力向上と読書活用の充実」	「健康教育の推進」	「安心・安全な学校づくり」
こども一人一人の成長につなげられる実践を目指し、工夫改善を行います。 ①教育活動全体で、友達とのかかわりを大切にする活動を推進します。 ②豊かな感性を育てる教育や環境整備を推進します。 ③こどもたちがすすんで挨拶できるよう指導します。	「考える子」の育成のために「こうとう学びスタンダード」ネクストステージの定着を目指します。 ①全教科の学習において、南砂小授業スタイルを実践します。 ②タブレットを活用した学習をさらに工夫改善していきます。 ③毎週金曜日の朝を読書タイムにして、全学年で読書活動を推進します。	「元気な子」の育成のために、すすんで運動する環境づくりを推進します。 ①「体力スタンダード」「体育授業の充実」「外遊びの奨励」に努めます。 ②体育教室、ポッチャ体験を計画・実施します。 ③地域や保護者と連携した危機管理体制を徹底します。	「きまりを守る子」の育成のために、地域・学校・家庭をつなぎ協働する体制づくりを行います。 ①地域連携した学習の機会を計画・実施します。 ②地域や保護者の方々に学校教育を理解していただくためにホームページの充実を図ります。

江東区立亀高小学校

住所 〒136-0073 江東区北砂5-20-16

電話 03-3640-5324

FAX 03-5690-4031

URL <http://kamtaka-sho.koto.ed.jp>

校長 吉田 松寿

副校長 阪本 典子

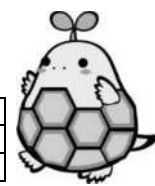
教職員数 24名

(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	60	51	61	52	53	58	335
学級数	2	2	2	2	2	2	12



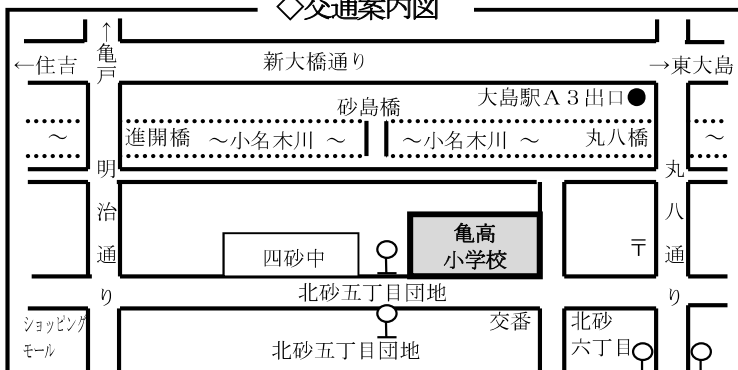
亀高イメージキャラ
かめたま



沿革

- 昭和52年4月1日、北砂5丁目団地の誕生とともに開校。その前身は、昭和12年6月19日に開校した東京市亀高尋常小学校（戦災で消失したため、昭和21年廃校となる）に始まる。開校50周年。

交通案内図



交通機関

- ◆都営新宿線 大島駅下車 徒歩13分
- ◆都営バス 亀21系統 徒歩3分
亀戸→大島→北砂六丁目←東陽町
- ◆都営バス 錦28系統 徒歩2分
錦糸町→北砂五丁目団地←東大島
- ◆都営バス 亀23系統 徒歩2分
亀戸→北砂五丁目団地←江東高齢者医療センター(循環)

教育目標とめざす児童像

- ・明るく 生き生きとした子 [あかるく]
- ・自分から考え やりぬく子 [かしこく]
- ・元気で 丈夫な子 [つよく]
- ・思いやりのある やさしい子 [あたたかく]

学ぶ楽しさとともに生きる喜びが
あふれる学校

～「こども ど真ん中」こどもの笑顔で
学校・地域が輝くように～

特色ある教育活動

(1) 恵まれた教育環境「わんぱくの森」を生かした活動

- ・ピオトープを有する校庭西側1800㎡の「わんぱくの森」で、自然観察の専門家による「みどりの授業」（1～4年）年間4回、米作り（5年）、カブトムシふれあい学習（2年）、プールでヤゴレスキュー（3年）などを行います。森を活用して児童一人一人が課題を見つけ解決に向けて取り組んでいます。
- ・森では多様な樹木・草花、昆虫・野鳥の観察ができ、田んぼ、広い畑、カブトムシ御殿などがあります。

(2) 読書・言語活動、伝統文化の体験活動などの推進

- ・毎週金曜の読書タイムや保護者等ボランティアによる読み聞かせ、年2回の読書旬間など豊かな感性を育み、表現力を身に付けます。
- ・俳句作り、百人一首大会、箏の体験授業（4年生）等に取り組みます。

(3) 縦割り班活動（わんぱく班）を積極的に活用した友達づくり

- ・1～6年生までが役割をもった「わんぱく班」を組織し、活動します。
- ・集会活動などで、様々な交流活動を行います。

(4) 健康・体力の保持増進に向けた活動

- ・毎月セレクトメディア（時間を上手に使えるよう、電子メディア等の使い方を選ぶ）に取り組み、健康な生活習慣の獲得を目指します。
- ・持久走旬間、長縄跳び旬間など様々な機会を設け、体力向上を図ります。
- ・全校で、パラリンピック種目「ボッチャ」に親しむ機会を設定します。



＜わんぱくの森＞ わんぱく班活動

本校の研究

校内研究は国語科に絞り、研究主題「自分の考えをもち、自ら表現できる児童の育成～国語科を中心とした言語感覚を養う活動を通して～」とし、全教員で組織的・計画的に授業改善を図ります。

PTA・地域との連携

- ・地域学校協働本部による活動の一環として、本の読み聞かせやカブトムシふれあい学習などを実施しています。
- ・PTA主催による「かめたかまつり」や地域パトロール等のボランティア活動が行われ、こどもたちの健全な育成を図っています。
- ・近隣幼稚園・保育園・中学校や高齢者施設との交流では、園児の森探検や交流活動、障害のある方との交流（4年生）、福祉施設訪問（3年生）、中学生の職場体験の受入等を実施して地域との連携を深めています。